

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月19日に実施した全国の6年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果及び今後の指導の方向性がまとまりましたので、お知らせいたします。なお、今回の調査により測定できているものは、学力の全てではありません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人一人の力をさらに伸ばすために、教職員一同、引き続き指導・支援をしてまいります。

教科の学習内容

国語、算数、理科ともに、全国平均、神奈川県平均を上回る結果となりました。調査結果を受けて、本校における今後の取り組み（指導の継続・改善）の方向性についてお知らせいたします。

国語

- ・漢字の読み書きは、日々の授業や家庭学習において、継続的な指導を心がけ、基礎基本の定着が図れるように一層の充実を図っていきます。
- ・説明文等で文章全体の構成や書き表し方に着目して要旨をとらえたり、目的や意図を考えて文や文章を整えたりすることができるようにいけるよう、授業づくりを行っていきます。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよさを見付けていけるように情報機器を積極的に活用していきます。

算数

- ・日常の事象を数理的にとらえて見通しをもち筋道を立てて考察することができるよう、授業の中で各学年の発達段階にあった指導をしていきます。
- ・数学的活動の楽しさやよさに気付き、よりよく問題解決に向かう態度を育てていけるよう、授業の流れを明確に示したり、めあてに沿った学習展開を工夫したりして、分かりやすい授業づくりに努めていきます。

理科

- ・話し合いを通して既習の内容と関連付けて根拠を示しながら、観察、実験の計画を立案し、課題解決につないでいける学習展開をしていきます。
- ・理科における「見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察や実験を行うことができるように学習計画や授業づくりに努めていきます。

児童質問紙調査

神奈川県、全国基準と比べて、学校・地域の特徴が表れていると考えられる項目

- 自分には、「よいところがある」と思っている児童が多い。
- 「友達と協力するのは楽しい」と思っている児童が多い。
- 「地域の行事に参加」している児童が多い。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童が多い。

引き続き、学校生活が子どもたちにとって、成長の糧となり、仲間の大切さや学ぶことの楽しさを味わえる場であり続けられるように、職員一同指導・支援してまいります。また、鴨志田の地域の中でたくさんの方々に見守られ、地域の一員として成長できるよう、今後も地域と連携した教育活動を継続してまいります。